

CHC

クーレストヒップキャリー

いつから	首すわり～
必要な長さ	ベースサイズ -2

外出先や活発な赤ちゃんの腰抱きに

巻いたまま抱きおろしできる 涼しい腰抱き

赤ちゃんの視界が大人の前方から後方まで広がることで、好奇心を満たし、親子のコミュニケーションも取りやすい巻き方です。

身体に布を巻いたまま、何度も赤ちゃんを抱いたりおろしたりすることができるため、外出中の抱っこや、歩き始めたお子さんの抱っこにもおすすめです。

赤ちゃんが眠りたい時は、布を背中全体に広げることでしっかり安定します。

赤ちゃんが布から手をだせば、布面積が小さくなり、夏も涼しく抱っこを楽しめます。

赤ちゃんをクロスした布が包むため、脚を活発に動かすお子さんにもおすすめです。



布の準備

ベビーラップをじゃばら状に整えて、身体にぐるりと巻きつけて肩の位置で結びます。この結び目を”スリップノット”にすると、フィット感を調節できます。クロスさせた布の部分に赤ちゃんが座ります。



① 布の中央を肩幅くらいで持ちます。



② 布をじゃばら状に束ねます。



③ 束ねた布を肩に掛けます。



④ 肩に掛けた布束が腰骨くらいの長さになるように握ります。



⑤ 反対側の手で背中側の布を広げ、じゃばら状に束ねます。



⑥ 束ねた布束を腰骨辺りの位置で握りながら、身体の前～後ろへ巻きます。



⑦ 身体に1周巻きました。巻いたテールは腰の辺りで手に握っておきます。



⑧ 手に握っているテールを、ウエストにある布束の下側からくぐらせてクロスします。



⑨ ウエストにある布束とお腹の間へ、上から下へ片手を差し込み、テールを引き上げるとやり易いです。



⑩ テールは肩から下がる布の上に重ねます。肩から下がる布を軸としてスリップノットを作ります。



⑪ 重なっている部分を片手で固定しながら、軸の布の下側から通します。



⑫ 手首にぐるりと巻き、軸の布の下側に通します。

布の準備



⑬ 固定していた手を離し布束を持ち替えます。



⑭ 布を握ったまま手を引き抜きます。



⑮ 肩から下がる軸の布に2つ布が巻き付いています。



⑯ 布束を握ってぎゅっと結び目を固めます。



⑰ 肩から下がる布を軸として、結び目全体が上下に動かせるか確認します。



⑱ 完成です。肩の高い位置にスリップノット、腰骨辺りで布がクロスしています。

ワンポイントアドバイス

スリップノットの動画



抱き入れ

クロスした布の部分に赤ちゃんを抱き入れます。ダブルクロスキャリアーと同じように、膝から膝までお尻をしっかりと包み込み、赤ちゃんの安定したM字姿勢を保つことができます。

①



赤ちゃんを高く抱きあげたら、太ももを優しく持ち上げ、胸の前の布束へ脚を迎え入れます。

②



反対側の肩へ抱き直し、次は脇から腰へ掛かる布束へ脚を迎え入れます。

③



赤ちゃんを布の上に深く座らせるよう、M字型姿勢で抱きます。両方の膝裏を布束が通り、脚はお尻よりも高い位置です。

④



初めに通した方の布束を広げます。

⑤



赤ちゃんが眠りたい時には、肩の位置まで布を広げると安定します。

⑥



トップレールは布束の下を通過して膝裏まで広げます。

⑦



膝裏から膝裏まで全体を包み込むように、お腹とお腹の間に布を広げます。

⑧



反対側も同様に布束を広げます。

⑨



背中を包み込むように大きく布を広げることで安定します。

⑩



膝裏から膝裏まで布を広げたら、余った布をボトムレールに集め、

⑪



しっかりとお尻を包み込みます。

⑫



背中がしっかりと2枚の布に覆われています。

引き締め

背中～肩の布を広げて、スリップノットで布の引き締め具合を調節することで、快適なフィット感を得ることができます。布は肩から下方向へ引き締めます。

①



背中側から布を引き寄せ、

②



肩の布を広げます。

③



スリップノット部分を片手で固定しながら、肩に掛かる布を下方向へ筋で引き締めます。

④



背中側の布を広げると、より体重分散できます。

⑤



背中にはシワがなく、お尻は2枚のシートでしっかり包まれています。

ワンポイントアドバイス

フィット感の調整

セットした布が緩い時は抱き入れの前にスリップノットで調整してください。

⑥



密着感の確認をします。赤ちゃんを支えながら軽くお辞儀をしてもグラグラせず安定しているか確認します。

下ろし方

ベビーラップを装着したまま簡単に抱き下ろしができます。スリップノットを少しだけ緩めると下ろしやすいです。

①



外側の布から布を下へめぐります。少しお尻を持ち上げるとスムーズです。

②



反対側も同様にして脚を出してあげれば、抱き下ろし完了です。